

## 平成20年度 第4回花見川区地域福祉計画推進協議会議事要旨

日時 平成21年2月6日(金) 午後2時00分～午後3時45分

場所 花見川区役所2階講堂

出席委員数 25名

欠席委員数 5名

事務局 9名

### 【1】次第

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 議題 (1) 地域福祉活動の事例について  
(2) 区地域福祉計画の推進状況について  
(3) 市地域福祉計画推進協議会について  
(4) 次年度の区地域福祉計画推進協議会について  
(5) その他
- 4 閉会

### 【2】議事要旨

委員定数30名のうち、25名出席、5名欠席を確認し開会した。

事務局司会の下、配付資料の確認を行い、議題に入る前に委員長から開会の挨拶があった。

#### 議題(1)

##### 地域福祉活動の事例について

花園地区部会で実施しているふれあい食事サービスについて、欠席した金子委員に替わり事務局より説明があった。

#### <質疑応答>

委員：誰が調理をしているのか。

事務局：約10名の地区部会のボランティアである。

委員：男性の料理教室が人気があると聞いているので、このような方にボランティアになってもらえば一石二鳥じゃないかと思った。

委員：当地区でも年3回実施しているが、募集するとすぐに定員に達してしまう。そこで、今回参加した方は次回は参加できない、というような制約をしても良いものか。

事務局：今開催している1回分を2回に分けて開催するなどして、なるべく参加

を制限しない方が良い。

委員：保健所から、前日準備は遠慮してほしい、という要請があるが、いかなものか。

事務局：そのとおり。前日準備は食中毒の恐れがあるため、当日調理するよう指導している。

副委員長：会場の都合で参加者数をこれ以上増やせないという問題は、地域を2つに割り2箇所を実施すれば解決できるのではないか。

事務局：そのように金子委員に伝える。

委員：私は、昨年まで同地区の民生委員としてこのふれあい食事サービスに関わっていた。その経験から、対象者369名の中には、身体的に参加できない方もいれば、本人の意志で参加しないという方などもおり、その結果適切な人数になっているので、人数を増やして会場を分ける、というような危惧はないものと感じている。

## 議題（2）

### 区地域福祉計画の推進状況について

保健福祉総務課から区地域福祉計画の推進状況について資料に沿って説明があった。

#### <質疑応答>

委員：当地区では、地域福祉活動を行うにあたって、公民館や町内自治会館を利用しているが、町内自治会館は有料である。③「17施設の利用規制などの緩和」に関連して、このような場合に利用料の助成などはしてもらえないか。

事務局：現状では難しい。

委員：①「94 防犯パトロールの実施」の項目にある検見川地区部会「健康と地域の安全づくり」は、②「84 高齢者や障害者が参加しやすい地域行事の普及」や②「100 地域防犯情報センター指定制度の活用」にも当てはまると思うが、整合性は確認しているのか。

事務局：記載内容は、事務局が知りうる範囲で判断し、記載している。もし、整合性があるというご指摘があれば、加えさせていただく。

委員：①「日頃からの隣近所とのコミュニケーション」の項目は実践事例が記載されず斜線が引かれているので、【①計画推進に向けて実践されている項目】ではなく【③実践事例の情報提供が無い、または未実施の項目】に分類されるのではないか。

事務局：これは①「(6) 個人・家庭等での実践が必要な項目」に分類される。地域での実践事例という欄はすぐわないので斜線を引いてある。

委員：①には(1)から(6)までであるが、表の各取り組みにはそのうちどれ

に当てはまるのかが記載されていないのでわかりにくい。

委員：例えば①「2子どもの交流の促進」には天戸中学校区地区部会だけが記載されているが、他の地域では実施がないということか。

事務局：ほか2地区部会と記載しているので、3つの地域で実施されているということである。

また、この表は、委員の皆様のご意見を基に、今後改良を加えていきたいと考えている。

委員：①と②の区分けがよくわからない。②に記載されている実践事例は何を根拠に②に分類したのか。

事務局：事務局の判断で分類している。改良が必要な部分は、今後改善していきたい。

委員：②という分類はいらないと思う。

委員：【③実践事例の情報提供が無い、または未実施の項目】の中には、地域では解決できない公助の部分が含まれているので、市推進協で取り上げていただきたい。

事務局：公助の部分については市推進協で議論していきたい。

副委員長：この表で全ての活動が記載されているとは思えない。他にやっている活動もあるだろうから、事務局へ情報提供してほしい。

また、「ほか何地区部会」ではどこがやっているのかわからないので、全て名前を挙げてほしい。

事務局：ご指摘の箇所は確かに不適切なので、地区部会名を記載することにしたい。

委員：町内会、老人会、社体等で実施されているものがある。地区部会から提供される情報だけでは偏ってしまう。事務局にはそのことを考慮してほしい。

### 議題（3）

#### 市地域福祉計画推進協議会について

保健福祉総務課から市地域福祉計画推進協議会について資料に沿って説明があった。

#### <質疑応答>

委員：市推進協委員のうち学識経験者2名の教授の専門を教えてください。

事務局：今は資料がないので詳細はお答えできない。松菌委員は社会福祉学が専門で地域コミュニティを研究している、と聞いている。大木委員は児童福祉が専門である。

委員長：私も市推進協の委員として参加したが、どの委員も皆福祉に精通している。福祉は行政が主体となるべきだと思う反面、行き届かない点を地域住

民として推進協で議論していかなければならないと思った。市推進協ができたことは心強く、連携を取りながら、ますます活動が活発になるのではないかと感じた。

#### 議題（４）

##### 次年度の区地域福祉計画推進協議会について

保健福祉総務課から次年度の区地域福祉計画推進協議会について説明があった。

##### <質疑応答>

委員長：各団体・組織から選出されている委員は、白紙に戻して、改めて推薦してもらおうのか。

事務局：各団体・組織から推薦していただく。引き続き同じ方でも問題ありません。

委員：総会が終わらないと選出できないが、いつまでに推薦するのか。

事務局：総会が終わる頃に推薦依頼をしたいと考えている。

委員長：各団体によって総会の日が違うので、決定次第早めに推薦するということが良いか。

事務局：そのようにお願いします。

#### 議題（５）

##### その他

事務局から推進協だより第６号の作成について説明した。

最後に片桐委員長・原田副委員長から１年間の締め括りの挨拶をし、午後３時４５分花見川区地域福祉計画推進協議会は閉会した。